

2 年頭の御挨拶

特集1 県政この一年

特集2 県職員の給与の状況

特集3 第五回沖縄平和賞

10 比べてわかるみんなのシゴト白書 IT・通信に携わるシゴト

12 県のうごき1 おきなわ花と食のフェスティバル2011

13 県のうごき2 沖縄MICEって何ですか？

14 情報ひろば お知らせ

16 つながる広がる 人・モノ・文化 地域物語 結いの島のシマおこし

年頭の御挨拶

新年おめでとうございます。

県民の皆様におかれましては、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は昨年の選挙におきまして、県民の皆様から負託を受け、引き続き県政の舵取りをさせていただくことになりました。これまでも増して、県勢の発展に全力で取り組んでまいり決意です。

私は、我々の子や孫たちが「独立自尊の精神」を持って、未来に堂々と踏み出していけるよう道筋をしつかりと示すことが私の責務だと考えており、「平和」「未来」「くらし」「子や孫」を第一に考えて、県政の運営に当たりたいと考えております。

沖縄県には依然として、過重な基地負担、全国より高い失業率等、解決すべき諸課題が山積しております。このような状況の中、昨年は、若い世代の活躍が県民に大きな喜びと自信を与えてくれました。

競技はもとより大会運営まで高校生が主役となり、大会を支えてくれた「全国高等学校総合体育大会 美ら島沖縄総体2010」。磨き抜かれた技術と強い精神力で、甲子園大会春夏連覇を成し遂げた興南高校野球部。女子プロゴルフにおける、宮里藍選手をはじめとする県出身選手のめざましい活躍。

いつの日かと思い描いた県民の夢が、一つ一つ実現されていくことは本当にうれしいことであり、次代を担う若い力を

わると新たな沖縄振興の枠組みを構築することが喫緊の課題であり、沖縄政策協議会等を通して政府と協議し、今後の沖縄振興を支える体制の整備、確立を目指します。

あわせて、地域の主体的な取組を支えるより自由度の高い財源として、「沖縄振興一括交付金(仮称)」の創設も引き続き求めてまいります。

県政の重要課題であります米軍基地問題につきましては、過重な基地負担の大幅な軽減と、日米共同発表を見直して普天間飛行場を県外へ移設することを強く要求してまいります。

また、今年も沖縄の魅力あふれる多くのイベントが予定されております。とりわけ、五年ぶりの開催となる「第五回世界のウチナーンチュ大会」は、世代を超えて受け継がれてきたウチナーンチュのきずなを確かめ合う場になることと思ひます。世界各地のウチナーンチュの御参加を、心からお待ち申し上げます。

平成二十三年、豊かで住みよい平和な美ら島沖縄を目指し、

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖縄県知事 仲井眞 弘多

沖縄県が抱える諸問題の解決にチャレンジし続けてまいります。県民の皆様におかれましては、引き続き御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

県民の皆様にとりまして実り多い年になりますよう祈念しまして、新年の御挨拶といたします。

平成二十三年一月一日

とても頼もしく感じております。

また、十一月には、沖縄の組踊が国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産として登録されました。沖縄の宝が世界の宝と認定されたものであり、沖縄の伝統文化を継承発展させていく上で、大変意義深いことであります。

さて、今年は日本復帰から四十周年を目前に、沖縄県にとりまして重要な年になると考えております。

昨年、県では、県民の皆様と共に、将来のあるべき沖縄の姿を描いた「沖縄21世紀ビジョン」を策定しました。今年は、その実現を目指して歩み出します。

平成二十三年度で終期を迎える沖縄振興特別措置法に代

